

**環境に優しい次世代モビリティが、次世代環境都市“柏の葉キャンパスエリア”に集結
 UDCK3周年記念企画「柏の葉モビリティ・フォーラム 2009」を開催
 地域ポイント連動型コミュニティサイクルの社会実験や、セグウェイ・電気自動車・電動バイクの体験会を実施**

公・民・学が連携した街づくり組織、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK、所在地:千葉県柏市)は、環境に優しい移動交通手段としてコミュニティサイクル、セグウェイ、電気自動車、電動バイクを一般の方に利用してもらい、次世代モビリティの実用性を検討する企画「柏の葉モビリティ・フォーラム 2009」を、2009年11月20日より開催します。

コミュニティサイクルは、1台の自転車を地域に集まる複数の人が共同利用する仕組みで、借りた場所と異なる自転車ポート(駐輪場)での返却が可能です。環境に優しく健康づくりにも役立つ自転車の利用促進策として注目を集めています。一方で、ポートによって貸出と返却の台数にばらつきが生じるため、台数調整としてトラック等での運搬が必要となり、その際のCO2排出と運営コストが課題とされていました。

今回、柏の葉キャンパスエリアでは地域エコポイントとコミュニティサイクルを連携させた新たなシステム「柏の葉スマートサイクル」の社会実験を、2009年11月25日より約2ヵ月間実施します。「柏の葉スマートサイクル」では、ポート間の自転車台数に偏りが生じた場合、登録者に台数調整の必要性を携帯電話へメッセージ配信します。このメッセージに応じて「自転車が多いポートで借り、少ないポートで返す」利用をした人には、地域での買い物などに利用できるエコポイントを付与します。トラックでの運搬を極力少なくしてCO2排出量を削減し、同時にエコポイントによる地域活性を図ります。また、ICカードなどのICTシステムを活用し、利便性の向上と運営負担の軽減を目指します。

2009年11月20日には、新しいモビリティの可能性について考える一般市民参加型のシンポジウムをUDCKで開催し、この中で「柏の葉スマートサイクル」のシステム展示および社会実験概要の発表を行います。また、電気自動車や電気バイク、セグウェイといった次世代モビリティに乗車できる一般体験イベントも開始し、環境に優しい移動交通システムの必要性や実用性について、市民と一緒に考え検証していきます。

「柏の葉モビリティ・フォーラム 2009」開催概要

■期 間:	2009年11月20日(金)～2010年1月28日(木)
■企画内容:	1. 記念シンポジウム (柏の葉スマートサイクル社会実験の概要発表を含む) 2. 電気自動車、電動バイクの展示・試乗体験会 3. セグウェイ 柏の葉ネイチャーツアー 4. 柏の葉スマートサイクル 社会実験
■場 所:	柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK]、および柏の葉キャンパスエリア周辺
■主 催:	2009年柏の葉自転車社会実験連絡会 (柏の葉アーバンデザインセンター自転車部会)
■協 力:	東京大学、千葉大学、三井不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、県立柏の葉公園、セグウェイジャパン株式会社、STプロジェクト、イーモビル株式会社、こんぶくる池里山隊、他

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>≪一般の方のお問い合わせ先≫ 柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK] 柏の葉モビリティ・フォーラム2009事務局 担当: 石原、中里 TEL: 04-7140-9686 MAIL: info@udck.jp</p>	<p>≪報道関係の方のお問い合わせ先≫ 柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK] 広報担当: 小林、蛭川 TEL: 090-3510-5586 / 04-7140-9686 MAIL: ma-kobayashi@udck.jp</p>
---	---

「柏の葉モビリティ・フォーラム 2009」期間中の各企画内容について

1. 記念シンポジウム

次世代モビリティに関する研究者や実務者、ジャーナリストを招き、地球と人に優しい移動交通システムのあり方を考えます。また、新たに実施する「柏の葉スマートサイクル」社会実験の概要を説明します。

【日時】 2009年11月20日(金) 15:00～17:40 (14:30～開場)

*** 報道関係者を対象に、フォーラムの趣旨説明や「柏の葉スマートサイクル」社会実験の実施概要を発表するプレスブリーフィングを当日13:30より 同会場にて行います。**

【内容】 ① 基調講演「ちょこちょこ充電で描く未来のクルマ社会」(15:00～)

講師：堀 洋一 氏 (東京大学教授 / 新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻)

内容：最先端の電気自動車の研究開発状況などを紹介し、クルマ社会の将来像を解説

② UDCKの活動発表「柏の葉キャンパスタウンにおける次世代モビリティと社会実験」(16:00～)

スピーカー：前田 英寿 (柏の葉アーバンデザインセンター / 副センター長)

内容：柏の葉地域での次世代モビリティに関する活動実績の紹介と、今回新たに実施する社会実験の説明

③ パネルディスカッション「新しいパーソナル・モビリティを考える」(16:10～)

パネリスト：川端 由美 氏 (モータージャーナリスト)

高知尾 昌行 氏 (株式会社JTB 首都圏 / 首都圏交流事業推進室 グループリーダー)

清水 克之 氏 (柏市 / 都市計画部交通政策課 主幹)

モデレータ：上野 武 氏 (千葉大学教授 / 工学部)

【会場】 柏の葉アーバンデザインセンター (千葉県柏市若柴字元堂178-3 柏の葉キャンパス駅前148街区3画地)

【参加】 無料、申込不要

2. 電気自動車、電動バイクの展示・試乗体験会

【日時】 2009年11月20日(金)～11月21日(土)

* 21日(土)は展示のみ

【主な車種】 ① 電気自動車「ST1001」(STプロジェクト)

トヨタ車体の「コムス」をベースに外観デザインなどを改良した1人乗り仕様の超小型電気自動車。普通自動車免許で公道を走行できる。

② 電動バイク「カルマート」(イーモービル社)

1回の充電で約50km 走行できる電気バイク。電気代は1kmあたり約0.6円と経済的。第一種原動機付自転車として公道を走行できる。

【場所】 柏の葉アーバンデザインセンターで受付、周辺の公道(車道)で試乗

【参加】 無料、当日会場にて申込



写真上が「ST1001」、下が「カルマート」

3. セグウェイで行く「柏の葉ネイチャーツアー」

セグウェイに乗って、千葉大学柏の葉キャンパスと千葉県立柏の葉公園を巡り、柏の葉地区の緑豊かな自然を探索します。当地区ではセグウェイに関して、2008年11月に国内初となる公道走行実験を行い、2009年5月にはツアー形式の無料走行イベントを実施してきました。これらの実績を踏まえ、今回は実用化に向けて有料でのニーズ把握や運営体制の検証を行います。

*11月20日には街づくり関係者や報道関係者の乗車体験会を実施します。



2009年5月のセグウェイツアー風景

【日時】 2009年11月21日(土)～12月13日(日)の土曜・日曜に開催

午前の部(9:30集合)と午後の部(13:00集合)の2回、各回とも2時間程度

【場所】 千葉大学柏の葉キャンパス、千葉県立柏の葉公園 (集合:柏の葉アーバンデザインセンター)

【参加】 参加費3,000円、事前申込制 (18歳以上・体重45～118kgの方が対象)

4. 「柏の葉スマートサイクル」社会実験

従来課題を克服する新しいコミュニティサイクルシステムとして、以下の特徴を持つ社会実験を展開予定です。

- ・ ICカードなどICTシステムを活用して運営を無人化し、長時間営業を実現
- ・ 新たに立ち上げる地域エコポイント制度との連携により、自転車利用の促進と地域経済の活性化を図る
- ・ 登録者にインセンティブポイントを与えて台数調整を兼ねた自転車利用を促し、トラック運搬回数を削減
- ・ 自転車ポートの設備には近隣里山の間伐材を使用

【期間】 2009年11月25日(水)～2010年1月28日(木) (予定)

2009年11月20日(金)より利用登録を開始

【場所】 自転車ポートは柏の葉アーバンデザインセンターと東京大学柏キャンパスの2カ所に設置予定

【参加】 有料、事前登録制 (FeliCaに対応した携帯電話を所有する方が対象)

柏の葉キャンパスエリアでは、千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、次世代環境都市を目指した街づくりが進んでいます。環境貢献型の交通体系を目標のひとつに挙げ、UDCKを中心にベロタクシーやセグウェイなど新しい移動交通の実証実験を行ってきました。「柏の葉モビリティ・フォーラム 2009」も、これら取り組みの一環として行うものです。また、内閣府から全国4番目の「ITS実証実験モデル都市」、総務省から「地域ICT利活用モデル構築事業」として、ITや交通に関する先導的的事业に柏市は選定されており、今回の「柏の葉スマートサイクル」はそれら事業とも連携して実施していきます。

【柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK] について】

東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の7団体が共同運営する公・民・学が連携した街づくり組織として、2006年11月に設立。センター長は北沢猛 東京大学大学院教授。つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」周辺を中心とする柏の葉地区を対象に、“環境・健康・交流・創造”をキーワードとする国際学術都市・次世代環境都市を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の実現に向けて、都市計画の調査・策定・推進、社会実験、市民活動のサポート、情報発信等を行っています。